

2019年3月期

Nishi-Nippon Financial Holdings

地域密着型金融の取組実績

 西日本FH 西日本フィナンシャルホールディングス

 西日本シティ銀行  長崎銀行

～ 中小企業の経営改善及び地域活性化のための取組み ～

CONTENTS

ベストミックスのチャネルの実現	2
店舗チャネルの拡充	2
デジタルチャネルの充実	2
企業まるごとサポートの進化	4
地元重視の営業展開	4
ライフステージに応じたソリューションの提供	5
コンサルティング機能の強化	9
事業性評価への取組み	9
「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	10
人生まるごとサポートの進化	11
地域まるごとサポートの展開	13
ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み	15
Environment（環境）	15
Social（社会）	15
Governance（ガバナンス）	18

ベストミックスのチャネルの実現

西日本FHは、ベストミックスのチャネルの実効性を一層高めるために、高度なコンサルティングの提供と先進的なデジタルチャネルの構築に取り組みます。

店舗チャネルの充実

■ 店舗のリニューアルオープン

● 西日本シティ銀行 大橋駅前支店・大橋支店

2019年4月22日、西日本シティ銀行 大橋駅前支店・大橋支店を同一建物内にリニューアルオープンしました。

新店舗は、西日本シティ銀行で初めてとなるブランチinブランチ方式^{〔注〕}を採用するとともに、「ローン営業室」や「西日本シティTT証券」などのご相談機能を充実させ、お客さまのさまざまな金融ニーズにワンストップでお応えする「まるごとサポート店舗」です。

〔注〕

ブランチinブランチ方式・・・複数の支店が同一建物内で営業する方式です。移転に伴う、「店名」・「店番」・「口座番号」の変更は無く、現在ご利用中の通帳・カードが継続してご利用いただけます。



新店舗住所：福岡市南区大橋1-2-12

大橋駅前支店・大橋支店 各階の機能	
4F	セミナールーム
3F	ローン福岡南営業室 西日本シティTT証券
2F	大橋駅前支店・大橋支店 (預金窓口・融資窓口)
1F	ATMコーナー 全自動貸金庫



大橋駅前支店・大橋支店

● 西日本シティ銀行 別府支店

2019年5月20日、西日本シティ銀行 別府支店をリニューアルオープンしました。

新店舗は、別府市の伝統工芸である竹細工を内装に取り入れるなど、あたたかみのある店舗をイメージしています。また、落ち着いた雰囲気でご相談いただける「相談ブース」や「全自動貸金庫」、「バリアフリー設備（多目的トイレ等）」を設置するなど、お客さまに快適にご利用いただける店舗です。



新店舗住所：大分県別府市元町1-26



別府支店

● 西日本シティ銀行・長崎銀行 八代支店

2019年7月8日、西日本シティ銀行と長崎銀行は、八代支店をリニューアルオープンしました。

新店舗は、西日本フィナンシャルホールディングスとして初めて、両行が同一フロアに入居する共同店舗です。



新店舗住所：熊本県八代市通町1-12



共同店舗の八代支店

デジタルチャネルの充実

■ 「西日本シティ銀行口座開設アプリ」の取扱開始

西日本シティ銀行は、2019年2月28日より、「西日本シティ銀行口座開設アプリ」の取扱いを開始しました。

本アプリでは、運転免許証をスマートフォンで撮影し、ご住所・お名前・ご勤務先等の必要事項を入力いただくだけで、簡単に口座開設手続きが完了します（キャッシュカードはご自宅に郵送）。

手続の流れ

- STEP 1** 口座開設アプリをダウンロード
- STEP 2** アプリを起動し、ガイダンスに沿ってお手続き
(運転免許証の撮影+必要事項の入力)
- STEP 3** キャッシュカードのお受取り
(通帳は発行されません。)(本人限定郵便)で登録住所へお届け)

ダウンロードはコチラ

Androidの方はコチラ

iPhoneの方はコチラ

Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

*AppleおよびAppleロゴは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Apple StoreはApple Inc.のサービスマークです。*Google playおよびGoogle playロゴは、Google Inc.の商標です。

■ 「西日本シティ銀行アプリ」の機能追加で利便性が向上

西日本シティ銀行は、「西日本シティ銀行アプリ」(7月5月現在：50万ダウンロード)にカードローンの残高・明細が照会できる機能など、さまざまな機能の追加を行いました。

機能追加の概要

- 1 カードローン口座照会機能の追加**
ご本人さま名義のカードローン口座をサブ口座としてアプリに登録することで、カードローン口座でも「残高・明細照会」機能が利用できます。
※専用カードがあるカードローン口座は、登録いただけません。
- 2 Android指紋認証機能の追加**
Android端末でも、「残高・明細照会」をご確認いただく際に、指紋認証機能を使用できます。(アプリ暗証番号の入力が不要)
※iPhone端末では「TouchID」・「FaceID」で実装済みの機能です。
- 3 投資信託の運用損益照会**
アプリから1タップで、保有する投資信託の運用損益が照会できます。
 - 投資信託(残高・明細)
 - パスワード入力不要! インターネットバンキングの契約がなくても、スマホでかんたんに投資信託の運用損益を確認!
 - お持ちの投資信託全体の運用損益を表示
 - 個別の投資信託の運用損益を表示
- 4 画面デザインの変更**
アプリのトップ画面のデザインを変更しました。
 - 「投資信託(残高・明細)」メニューを追加
 - フッターエリアを設けて、よく使われる機能をアイコンで表示

■ 「NCBアプリペイ」による粕屋町の税公金お支払いサービス開始

西日本シティ銀行は、2019年4月1日より、「西日本シティ銀行アプリ (NCBアプリペイ)」による粕屋町の税公金のお支払いサービスを開始しました。

本サービスを利用することにより、「いつでも、どこでも、簡単・便利に」税公金のお支払いが可能となり、粕屋町では地域住民サービスの向上が期待されます。

カメラを起動してバーコードを読み取ることでお支払いが完了!



粕屋町で取扱いを開始した納付書・請求書	<ul style="list-style-type: none"> ●住民税 ●固定資産税 ●軽自動車税 ●国民健康保険税 ●介護保険料 ●後期高齢者医療保険料 ●保育料 ●水道料金
---------------------	--

■ 「口座開設ナビ」タブレットの導入

西日本シティ銀行は、2019年4月15日より、窓口にご来店のお客さまの新規口座開設のお手続きをタブレットで受付する「口座開設ナビ」を導入しました。

これにより、申込書類の「記入レス」・「受付から口座開設までの時間短縮」を実現しました。



口座開設ナビ

■ スマホ決済サービスへのチャージ機能を充実

西日本シティ銀行は、スマホ決済サービスである「Pay Pay」に加えて、「LINE Pay」・「J-Coin Pay」・「メルペイ」など、西日本シティ銀行の口座からチャージできる機能の提供を2019年1月以降、順次開始しました。(西日本シティ銀行の普通預金(総合口座を含む)のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまが対象となります。)

西日本シティ銀行
普通預金口座からチャージOK!

コラム

「NCBクリエイティブコンテスト」と「JR博多シティサイネージジャック」を実施

西日本シティ銀行は、2019年新生活応援キャンペーンの一環として、「NCBクリエイティブコンテスト」を実施しました。このコンテストは、デザイン・クリエイティブ分野での活躍を目指す地元福岡の学生や卒業生の皆さまより、「西日本シティ銀行と取引をはじめたくなるデザイン」をテーマに作品を募集したものです。

西日本シティ銀行による一次選考と一般の皆さまからの西日本シティ銀行アプリによる投票の結果、ヨシフクホノカさん(西南学院大学卒業)の作品を大賞に決定し、受賞作品を本店壁面広告やキャンペーンのポスターに採用しました。

また、2019年3月22日より約1ヶ月間、この作品をJR博多シティアミューズプラザ博多・アミュエスト館内に設置している124基のサイネージにて順次放映したほか、全てのサイネージが揃う「JR博多シティサイネージジャック」(毎日3回)も実施しました。



ヨシフクホノカさんの大賞受賞作品



「JR博多シティサイネージジャック」

企業まるごとサポートの進化

中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしぼろう～」においても、「地域の発展なくして西日本フィナンシャルホールディングスグループの発展なし」との信念の下、「企業まるごとサポート」をコンセプトに、地元を重視した営業を展開し、創業期、成長期などのライフステージ〔注〕に応じたサポートや成長ビジネス分野のサポートに努めています。

今後も、資金供給者としての役割にとどまらず、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対して、グループ一丸となった「企業まるごとサポート」を展開することにより、お客さまに選ばれる「総合金融グループ」を目指します。



◎金融仲介機能の発揮に向けた取組み

西日本FHグループは、長い歴史の中で、お客さまのライフステージにあわせて、融資のみならず多面的な支援を行い、地元産業の育成・企業振興に取り組んでいます。

〔注〕ライフステージの定義

創業期：創業から5年以内

成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超

安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%～120%

低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満

再生期：貸付条件の変更、または延滞がある期間

地元重視の営業展開

2019年3月末時点で、西日本シティ銀行の与信先の9割強が地元九州向けであり、長崎銀行についても与信先の9割弱が地元長崎県向けです。

このように、西日本FHグループでは、地元重視の営業展開を行っています。

【地域別の与信先数（2019年3月末）】

西日本シティ銀行					
	全与信先	福岡県	九州(福岡県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数(先)	41,430	34,980	4,825	533	1,092

長崎銀行			
	全与信先	長崎県	その他
与信先数(先)	2,571	2,278	293

■長崎地区で「西日本フィナンシャルホールディングス会社説明会」を開催

西日本FHは、2019年2月26日、「西日本フィナンシャルホールディングス会社説明会」を長崎市内で開催しました。本説明会は、長崎地区のお客さまに西日本FHグループに対するご理解を深めていただくことを目的に実施したもので、当日は、180名を超えるお客さまにご参加いただきました。

第一部では、久保田会長が「今後の世界経済と日本の行方」との演題で講演し、第二部では、谷川社長が「西日本FHのグループ経営戦略～ココロがある。コタエがある。～」との演題で、西日本FHグループの概要や総合金融サービスについて説明しました。

第三部では、お客さまと西日本FHグループ役職員との交流会を実施しました。

なお、2019年3月19日には、佐世保市内においても会社説明会を開催しました。



講演する久保田会長



会社説明を行う谷川社長



佐世保市内での会社説明会

ライフステージに応じたソリューションの提供

【ライフステージ別の与信先数及び融資残高（2019年3月末）】

西日本シティ銀行

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	その他
与信先数（先）	41,430	4,238	2,494	17,216	1,264	1,608	14,610
融資残高（億円）	52,772	4,052	6,079	32,129	1,415	1,061	8,037

長崎銀行

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	その他
与信先数（先）	2,571	153	118	952	38	239	1,071
融資残高（億円）	749	47	57	470	15	48	112

創業期のお客さまの支援

創業、新規事業開拓を目指すお客さまに、融資や企業育成ファンドへの出資等を通じて事業立ち上げ時の資金需要やコンサルティングニーズに対応しているほか、補助金や制度融資のご紹介など情報面での支援や、外部機関との連携による新たな技術の製品化・商品化の支援などを行っています。

また、金融機関に求められる起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援を実現し地域産業の育成を図る観点から、西日本FHグループでは、外部機関やグループ各社との提携、連携を通じて創業支援への取組みを強化しています。これからも、西日本FHグループの「良きDNA」を継承・発展させ、グループ一丸となって地元産業の発展に資するさまざまな支援に取り組めます。

【関与した創業・第二創業（注1）の件数（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業（件）	3,736	15
第二創業（件）	99	1

〔注1〕 第二創業の定義

- ・既に事業を営んでいる企業の後継者等による新規事業の開始
- ・既存の事業を譲渡（承継）した経営者等による新規事業の開始
- ・抜本的な事業再生により業種を変更し再建

【創業支援先数（支援内容別）（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行
創業計画の策定支援（先）	830
創業期〔注2〕の取引先への融資（プロパー）（先）	1,043
創業期への取引先への融資（信用保証付）（先）	1,507
政府系金融機関や創業支援機関の紹介（先）	344
ベンチャー企業への助成金・融資・投資（先）	12

〔注2〕 創業5年以内

NCB創業応援サロンの設置

西日本シティ銀行は、事業計画書の策定支援、創業資金支援、経営指導・経営相談、各種セミナーの開催など、創業に関するあらゆるコンサルティングを行い、起業家同士の交流を図る場として「NCB創業応援サロン」を小口事業資金相談窓口の「ビジネスサポートセンター（BSC）福岡」・「BSC北九州」内に設置しています。

本サロンでは、創業支援に関する専門スタッフの「創業カウンセラー」が常駐し、さまざまな相談にきめ細かに対応しています。



創業応援サロン（北九州）



創業応援サロン（福岡）

サロン来訪者累計
5,333名
創業カウンセラー
30名

2019年3月末

外部機関との連携によるワンストップのサポート態勢

西日本シティ銀行は、創業分野でノウハウを有する日本政策金融公庫と中小企業融資に豊富な経験を持つ福岡県信用保証協会、NCBリサーチ&コンサルティングと連携し、創業前の準備段階から、創業時の資金調達、創業後の事業安定までの質の高いサポートをワンストップで提供しています。

日本政策金融公庫

- 事業計画書の策定支援
- 創業資金支援
- 経営指導・経営相談
- フォローアップセミナーの開催

西日本シティ銀行
NCBリサーチ&コンサルティング

福岡県信用保証協会

■ 株式会社Zero-Ten Parkとの業務連携及びサービス開始

西日本シティ銀行は、株式会社Zero-Ten Parkと業務連携契約を締結し、スタートアップ企業を含めた小規模事業者支援策の拡充のため、福岡市内に拠点を置きたい法人・個人事業主のお客さまに、コワーキングスペース「The Company」の特別利用プランを紹介するサービスを、2019年3月1日より開始しました。



株式会社Zero-Ten Parkが運営する
コワーキングスペース「The Company」

■ ～全国の銀行で初～ 株式会社テンポスバスターズとの業務連携及びサービス開始

西日本シティ銀行は、株式会社テンポスバスターズと全国の銀行で初めて飲食店支援を目的とした業務連携契約を締結し、2019年3月1日よりサービスを開始しました。

このサービスは、飲食業向けの創業支援を拡充するため、これから開業する事業者を含めた飲食業の法人・個人事業主のお客さま向けに、同社が提供する飲食店サポートサービスの紹介をするものです。

■ fabbit共同事業体との連携強化について

西日本シティ銀行は、北九州市の創業支援中核施設「COMPASS 小倉」の指定管理業務を受託しているfabbit共同事業体と創業支援に係る取組みで、2019年3月1日より連携を強化しました。

西日本シティ銀行は、「COMPASS 小倉」が2018年6月にリニューアルオープンして以降、北九州地区の創業事業者を支援するため、創業セミナーや個別相談会を同事業体と連携し、実施してきました。

今回の新たな連携策として、同事業体の自主事業であるコワーキングエリアへの入居希望者に対して特別利用プランを紹介するほか、同事業体が実施するアクセラレーションプログラム〔注〕サポーターとして行員を派遣しています。



「COMPASS 小倉」

〔注〕アクセラレーションプログラムとは、スタートアップ企業がプログラムに参加する多数の専門家から短期間で事業の成長に必要な知識や手段を習得できるプログラムです。

成長期・安定期のお客さまの支援

事業のさらなる成長を目指すお客さまに対しては、ファンド等の多様な資金調達手段の提供や地場企業の上場支援、海外金融機関等との連携による海外進出支援等により、販路拡大や新たな事業展開等のサポートを行っています。

■ 高度なコンサルティングとソリューションの提供

西日本シティ銀行は、医療・農業等の各分野に精通した専門人財によるコンサルティングサービスの提供やNCBリサーチ&コンサルティングの各種ビジネスセミナーの開催等により、お客さまの経営課題にベストなソリューションを提供しています。

【ソリューション提案先数（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①（先）	41,430	2,571
ソリューション提案先〔注1〕②（先）	4,462	42
割合（②／①）	10.8%	1.6%

〔注1〕ソリューション提案先：2019年3月期中に、お客さまの本業支援等の提案を行った先

【ソリューション提案先の融資残高（2019年3月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①（億円）	52,772	749
ソリューション提案先②（億円）	5,376	13
割合（②／①）	10.2%	1.7%

【販路拡大支援先数〔注2〕（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行
地元〔注3〕（先）	818
地元外〔注4〕（先）	25
海外（先）	159

〔注2〕販路拡大支援先：ビジネスマッチング（契約に基づくもの）の成約、商談会やビジネスマッチングフェアでの成約、個別の紹介（契約に基づかないもの）の成約

〔注3〕地元：福岡県を含む九州

〔注4〕地元外：地元及び海外を除く

■ ファンド等の多様な資金調達手段の提供

西日本FHグループは、創業・新規事業支援、成長支援、事業承継支援、6次産業化支援、シーズ産業化支援、経営改善・事業再生支援等企業のライフステージに対応した各種ファンドに出資しており、金融機関の本業である貸出のほか、これらのファンドも活用しながら、地域の企業の成長を金融面から支援しています。

【西日本シティ銀行が出資する各種ファンド（注）の活用件数】

ファンド	2019年3月期の件数	2019年3月期までの累計件数
NCB九州6次化応援ファンド	0	11
NCB九州活性化ファンド	4	10
QB第一号ファンド	12	20
合計	16	41

〔注〕各種ファンド
 <NCB九州6次化応援ファンド>
 九州における1次産業者と2次・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンド。これまでの出資累計は、合計11件/722百万円（2019年3月末）。地方銀行ではトップの実績。
 <NCB九州活性化ファンド>
 多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的としたファンド。
 <QB第一号ファンド>
 株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営する、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州地域活性化を目的としたファンド。

■ 地場企業の上場支援

西日本シティ銀行は、2018年12月6日、株式会社東京証券取引所との連携協定に基づき、上場をご検討されている皆さまに新たな市場の活用をご提案するため、『「TOKYO PRO Market」活用セミナー』を開催しました。

本セミナーでは、宝印刷株式会社の J-Adviser室部長 勝間田 英樹氏と、実際に「TOKYO PRO Market」への上場を果たされた企業として、株式会社フロンティアの代表取締役社長 山田 紀之氏らをお迎えし、活用の効果や成長戦略などについて講演いただきました。



「TOKYO PRO Market」活用セミナー

■ 農林漁業分野への支援

西日本シティ銀行は、九州の基幹産業でもある農林漁業分野にも力を入れています。NCB農業応援資金やNCB九州6次化応援ファンドなどによる金融面の支援のほか、自治体や業界団体と連携したセミナーなどを開催しています。



■ より広域かつ深度ある国際ビジネス支援

西日本FHグループは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の提携先や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を超えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。

豊富な国際ビジネス支援態勢	
西日本シティ銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●国際部/国際ビジネス支援室 →専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる国際ビジネス支援 ●ワールド・ビジネス・スクエア (WBS) →外国送金、信用状取引といった外国為替取引を含め海外ビジネスをトータルにサポート ●NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約 →インターネットによる外国送金、輸入信用状の申込・照会などの幅広い外為取引
NCBリサーチ&コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ●国際コンサル室 →国際経験豊かなスタッフによる海外提携金融機関・弁護士・保険会社等とも連携したきめ細かな海外進出支援 ●「アジアへの扉」(ウェブサイト) →きめ細かな情報発信 ●アジアビジネスセミナー →国際ビジネスに関する各種セミナーの開催
九州カード	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なクレジットブランド →VISA、Master、JCB、AMEX、銀聯、シンハンカードを基軸としたフルブランド展開



■ ～創立15周年記念事業～「アジア金融・経済フォーラム2019」を開催

西日本シティ銀行は、2019年2月14日、創立15周年を記念して「アジア金融・経済フォーラム2019」を開催しました。

第一部の基調講演では、アジア開発銀行（ADB）総裁の中尾 武彦 氏をお招きし、アジア経済の現状と見通しに関する最新の情報についてご講演いただきました。また、第二部のパネルディスカッションでは、アジア各地において事業を展開されている国内大手企業トップの方々等をパネリストにお迎えし、現地の現況と直面している課題等をお話しいただくとともに、今後のアジア市場におけるビジネスの方向性や課題の解決策等についても掘り下げて討論していただきました。



講演される中尾 武彦 氏



モデレーターの久保田会長



パネルディスカッション

「アジア金融・経済フォーラム2019」	
＜第一部 基調講演＞	
講演者	中尾 武彦 氏（アジア開発銀行 総裁）
＜第二部 パネルディスカッション＞	
パネリスト	中尾 武彦 氏（アジア開発銀行 総裁）
	石川 和秀 氏（政府代表/特命全権大使（関西担当））（前駐フィリピン大使）
	山田 匡通 氏（株式会社イトーキ 代表取締役会長）
	倉富 純男 氏（西日本鉄道株式会社 代表取締役社長）
	西村 松次 氏（株式会社九電工 代表取締役社長）
モデレーター	久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長）

※役職名等は、開催時のものです。

低迷期・再生期のお客さまの支援

経営改善、事業再生等が必要なお客さまに対しては、中小企業金融円滑化法の精神に基づき、外部機関とも連携しながら、経営再建計画策定支援や貸付条件の変更等の対応を行っています。

【貸付条件の変更の申込みを受けた貸付債権の数（2009年12月4日からの累積件数）】

西日本シティ銀行

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
中小企業者（件）	36,235	41,045	45,445	49,681
住宅ローン借入者（件）	2,751	2,998	3,141	3,266

長崎銀行

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
中小企業者（件）	2,324	2,599	2,801	2,976
住宅ローン借入者（件）	262	276	295	302

【経営改善支援取組み先のうち債務者区分がランクアップした先、経営改善計画を策定した先数（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
期初債務者数	41,033	2,764
経営改善支援取組み先（先）	705	75
（経営改善支援等取組み率）	(1.7%)	(2.7%)
うち期末に債務者区分がランクアップした先（先）	55	2
（ランクアップ率）	(7.8%)	(2.6%)
うち再生計画を策定した先（先）	501	56
（再生計画策定率）	(71.0%)	(74.6%)

※経営改善支援取組み先：西日本シティ銀行または長崎銀行が主導して、経営改善計画策定や経営改善計画の実現に向けた支援を行う先。

【貸付条件の変更を行っている中小企業のお客さまの経営改善計画の進捗状況（注2）（2019年3月末）】

	総数	好調先	順調先	不調先（注3）
西日本シティ銀行	2,174	27	351	1,796
長崎銀行	241	8	44	189

〔注2〕 好調先：経営改善計画における売上高の進捗状況が120%超 順調先：同80%～120% 不調先：同80%未満

〔注3〕 経営改善計画の策定のない先は不調先を含む⇒不調先の中には経営改善計画の策定に至っていない取引先も含まれます。

【中小企業再生支援協議会の利用先数（2019年3月期）】

	先数
西日本シティ銀行	18

■ 事業承継・M&A分野の支援

西日本シティ銀行（プライベートバンキング部、法人ソリューション部）及びNCBリサーチ&コンサルティング（事業コンサル部）では、西日本FHグループ全体のお客さまニーズを把握し、外部機関とも連携しながら円滑な事業承継・M&Aをお手伝いしています。

【事業承継・M&A支援先数（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行
事業承継支援先数（先）	552
M&A支援先数〔注〕（先）	20

〔注〕 NCBリサーチ&コンサルティングによる支援先を含む。

コンサルティング機能の強化

■ コンサルティング営業室の新設

西日本シティ銀行は、2019年4月1日に、付加価値の高いサービスの提供機能を一層強化するため、法人ソリューション部に「コンサルティング営業室」を新設しました。

お客さまが抱える経営上のさまざまな課題を共有し、その解決に向けた提案を行っています。

■ ～九州地銀グループ初！～ 人材紹介業への参入

NCBリサーチ&コンサルティングは、有料職業紹介事業者の許認可を取得し、九州地銀グループ初となる人材紹介業に、2019年4月より参入しました。

人口減少や少子高齢化の進展に伴って増加するお客さまの人材に関する課題解決に取り組んでいます。



事業性評価への取組み

西日本FHグループは、従来から地域金融の円滑化を図ることが社会的責任を果たすうえでもっとも重要な役割と捉え、中小企業のお客さまの経営支援の強化に積極的に対応しています。

事業の内容や成長可能性を適切に評価する「事業性評価」を実践することにより、経営課題の解決・事業価値の向上に積極的取り組みます。

【お客さまの本業支援に関連する人材育成の状況（2019年3月末）】

	西日本シティ銀行
資格取得者数〔注1〕（人）	1,720

〔注1〕 資格取得者数：事業性評価や本業支援等の取組みに資する資格

【事業性評価に基づく融資を行っている与信先数〔注2〕及び融資額（2019年3月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
先数（先）	4,824	406
（全与信先に占める割合）	（11.6%）	（15.8%）
融資残高（億円）	24,993	300
（全与信先の融資残高に占める割合）	（47.4%）	（40.1%）

〔注2〕 2017年3月からの累計

【メイン取引先の状況（2019年3月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
メイン取引先〔注3〕数（先）	16,996	1,430
メイン取引先の融資残高（億円）	26,796	435
メイン取引先のうち経営指標等〔注4〕が改善した先数（先）	13,466	798
メイン取引先のうち経営指標等が改善した先の融資残高（億円）	22,852	310

〔注3〕メイン取引先：財務データの登録が2期以上ある取引先のうち、融資残高が最も大きい法人取引先

〔注4〕経営指標等：売上高、営業利益率等

■ 動産・債権譲渡担保融資の取組み

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資として、動産・債権担保融資（ABL）〔注1〕にも取り組んでいます。さらに、グループ各社を含む民間の投資会社等が組成する企業再生ファンド〔注2〕への出資を通じ、再生に取り組むお客さまの支援を行っています。

〔注1〕借り手の事業活動そのものに着目し、商品在庫、原材料、機械設備等の動産や売掛債権を担保に資金を貸し出す仕組み。

〔注2〕過剰債務に陥った企業の立て直しを目的に、投資家から資金を集め、再生ビジネスに関するファンドのこと。

【動産・債権担保融資（ABL）の実績（2019年3月末）】

西日本シティ銀行

	動産・債権譲渡担保融資		
		うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	44	17	27
融資残高（億円）	117.3	3.2	114.1
融資枠設定額（億円）	151.6	3.2	148.3

長崎銀行

	動産・債権譲渡担保融資		
		うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	32	2	30
融資残高（億円）	15.9	0.3	15.4
融資枠設定額（億円）	0.4	0.4	—

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

西日本FHグループでは、お客さまと保証契約を締結する場合やお客さまから既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合、お客さまから保証債務の整理のお申し出があった場合には、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応するよう努めています。

【「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組状況（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
新規に無保証で融資した件数（件）	3,981	243
新規融資件数（件）	17,292	1,179
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数（件）	0	0
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	23.0%	20.6%
保証契約を変更した件数（件）	2	0
保証契約を解除した件数（件）	311	19
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（件）	0	0
うち、メイン行としての成立件数（件）	0	0

【「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数、及び、全与信先に占める割合（2019年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先数（先）①	41,430	2,571
ガイドライン活用先数（先）②	3,330	218
割合②／①	8.0%	8.5%

経営者保証に関するガイドライン

- ・「経営者保証に関するガイドライン」とは、経営者保証（中小企業の経営者などによる個人保証）において合理性が認められる保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うためのルールとして、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表したものです。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」には、中小企業等の経営者の皆さまが金融機関と保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における自主的なルールが定められています。

人生まるごとサポートの進化

個人のお客さま向けには、ライフステージから生じるさまざまなニーズを起点に「人生まるごとサポート」をコンセプトとして、最適なサービスの提供に努めています。

人生まるごと サポートの進化 (個人のお客さま向け)	ニーズ	貯める	送金する	決済する	借りる	増やす	備える	遺す	お客さまに最適な 商品・サービスを提供	
		お客さまの良質な金融資産の安定的形成 に向けた高度な資産運用提案				相続等の相談受付態勢の強化				
		各種ローンの商品性向上				新たなビジネス分野の開拓				

■ お客さまの良質な金融資産の安定的形成に向けた高度な資産運用提案

● フィデューシャリー・デューティーを踏まえた業務運営態勢の構築

西日本FHグループ（西日本シティ銀行・長崎銀行・西日本シティTT証券）は、「お客さまの資産運用及び資産形成に関わる業務の基本方針（フィデューシャリー・デューティーに関する基本方針）」を策定し、公表しています。

お客さまの資産運用及び資産形成に関わるニーズに応じて、金融商品ラインナップ・ICTを活用したわかりやすい商品提案・お客さま本位の営業態勢の浸透・定着など「お客さま本位の業務運営態勢の構築」に努めています。

〔取組事例〕

◆ マーケットセミナーの開催

西日本シティ銀行と西日本シティTT証券は、2018年4月18日、マーケットセミナー「AI・ロボティクスが世界を変える」を開催し、AI・ロボティクスマーケットの今後の動向などについて、情報提供を行いました。



◆ 投資信託ファンドセレクション大会の開催（2回目）

西日本シティ銀行は、2019年2月15日、新たに取り扱うファンドをお客さまの投票によって決定する「投資信託ファンドセレクション大会」を開催しました。投票の結果、新たに2ファンドの取扱いを開始しました。

投資信託ファンドセレクション大会 投票結果

- 1 日本連続増配成長株オープン
- 2 LM・米国連続増配株ファンド



■ ローンの商品性向上・ローンご返済窓口の設置

● Webで申込可能なローン商品の拡充

西日本シティ銀行は、「ローン契約のために来店する時間が取れない」などのお客さまからいただいたご意見におこたえするため、Web上でご契約が完了する商品を7商品に拡充しています。

「電話」「FAX」「ATM」からお申込みいただいたお客さまも、Web上でご契約いただけます。



● ローンご返済相談窓口の設置

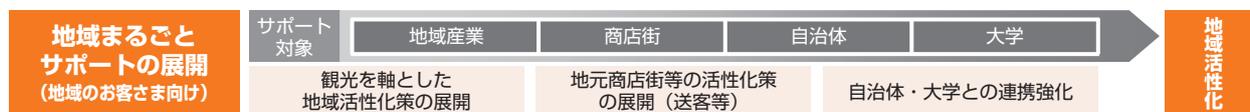
西日本シティ銀行は、ローンのご返済にお困りのお客さまへのご相談窓口「ローンご返済相談窓口」を設置しています。

ローンのご返済に
お困りの皆さまの
相談窓口

ローンご返済相談窓口
☎0120-014-862
【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
(祝日及び銀行休業日は除きます)

地域まるごとサポートの展開

地域のお客さま向けには、「地域まるごとサポート」をコンセプトとして、地方公共団体や大学等と連携し、地方創生や地域活性化に積極的に取り組んでいます。



■ 地域活性化策の展開

● 地域応援私募債「つなぐココロ」好評取扱中

西日本シティ銀行の地域応援私募債「つなぐココロ」は、2017年2月の取扱開始から、発行企業件数は61件、発行総額は67.7億円に達しています(2019年3月末現在)。

教育の現場で必要とされるさまざまな物品を、地域の学校等に寄贈しました。寄贈を受けた学校からは、感謝状等をいただくなど、たいへん喜ばれています。

引受実績累計 61件 67.7億円 (2019年3月末)



アスカコーポレーション株式会社から北九州工業高等専門学校へ展示ケースを寄贈

● 地域の元気を応援するTV番組の制作・放送

〔まちが★スキー〕

この番組では、「地域の元気を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとにスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています。

2019年4月より、長崎地区でも放送を開始しました。

なお、当番組は、長崎市が掲げる「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に適合した取組みとして、長崎市より「長崎創生プロジェクト事業」に認定されました。



福岡地区

毎週土曜日 9時25分～9時30分
FBS福岡放送にて放送中

長崎地区

毎週金曜日 22時54分～23時00分
NIB長崎国際テレビにて放送中

番組専用サイトはこちら

<https://www.ncbank.co.jp/machisuki/>

■ 産学官連携

●世界遺産保存応援私募債「九州ヒストリー」

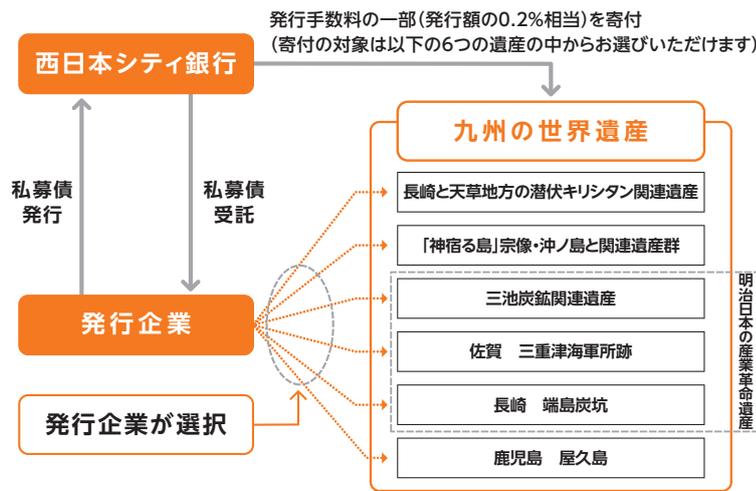
西日本シティ銀行は、2018年10月から世界遺産保存応援私募債「九州ヒストリー」の取扱いを開始しています。

本私募債は、九州内の世界遺産群の保存活動を地域の皆さまとともに支援する目的で、私募債発行金額の0.2%を西日本シティ銀行が寄付する社債です。なお、寄付の対象となる遺産群は、各自治体より要請いただいた6つの遺産群です。

今後も、多様な資金調達ニーズにおこたえするとともに、地域の皆さまと一緒に、「地域貢献・地方創生」に取り組んでまいります。

世界遺産保存応援私募債「九州ヒストリー」のポイント

- 1 私募債発行手数料の一部を九州の世界遺産群の保存活動のために寄付いたします。
- 2 本私募債を発行することで、世界遺産の保存への貢献に繋がります、その企業姿勢を広くアピールできます。
- 3 私募債発行は、当行所定の基準を満たした企業に限られているため対外的に財務の優良性をアピールできます。



ご相談は、お近くの西日本シティ銀行へお問い合わせください。

詳しくは、西日本シティ銀行のホームページをご参照ください。

詳細はこちら



●地元の大学に講師を派遣

西日本シティ銀行は、知的貢献活動の一環として、西南学院大学、福岡大学、九州産業大学に役職員を講師として派遣し、金融をテーマとした講義を行いました。

今後も、地域金融機関として、地域の人材育成に努めてまいります。

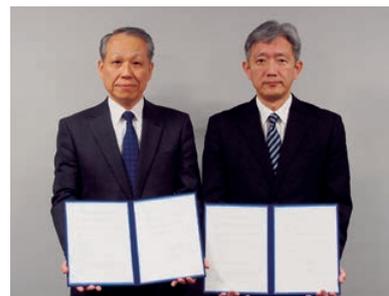
大学	西南学院大学	福岡大学	九州産業大学
講座	実践仕事塾 ～金融スペシャリスト 育成講座～	金融業界 研究セミナー	キャリア演習 金融機関論
開講期間	2018年 10月23日 ～11月20日 毎週火曜日 全5回	2018年 11月9日・ 16日・22日 全3回	2018年9月19日 ～2019年1月9日 毎週火曜日 全20回

●長崎労働局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結

長崎銀行は、2019年1月11日、長崎労働局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結しました。

本協定の締結を機に、働き方改革に関するさまざまな情報を発信する等、お取引先の働き方改革を支援する取組みを行ってまいります。

- (主な連携事項)
- (1) 労働者の処遇の改善、ワーク・ライフ・バランスの推進、その他の働き方改革に関すること。
 - (2) 雇用の促進及び安定に関すること。
 - (3) 人材育成に関すること。
 - (4) 多様な働き方に関すること。
 - (5) 労働生産性の向上に関すること。
 - (6) 労働局の施策の周知に関すること。



「働き方改革に係る包括連携協定」の締結

ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み

西日本FHグループは、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指し、地域金融機関ならではのESGの取組みを推進しています。

なお、西日本FHグループは、SDGs〔注〕に向けた取組み項目を開示しています。開示にあたっては、国際連合広報センターが公開しているロゴを使用し、該当する項目を表示しています。

また、西日本シティ銀行では、2019年7月より、外訪活動に従事する役職員は、SDGsバッジを着用しています。

〔注〕SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標です。環境、教育、労働、ジェンダー平等、平和などの問題解決に向けて設定された17の目標で構成されています。国連に加盟するすべての国は、2030年までにこの諸目標を達成すべくさまざまな取組みを行っています。



SDGsバッジ

Environment（環境）

■ ～国内の金融機関で初！～ 傘のシェアリングサービス「アイカサ」と協働



西日本シティ銀行は、株式会社Nature InnovationGroup が提供する傘のシェアリングサービス「アイカサ」と国内の金融機関として初めて協働を開始しました。

「アイカサ」は、2018年12月に東京都渋谷区でサービスを開始した日本初の「傘のシェアリングサービス」で、LINEアプリから傘の設置場所の検索やレンタル、決済ができます。2019年5月21日より福岡市でもサービスが開始され、公共施設や商業施設などさまざまな場所で利用できます。

西日本シティ銀行では、本店営業部・福岡支店・大名支店に本サービスで使用する傘を設置しています。



アイカサ

Social（社会）

— Service（サービス） —

■ ～全国の銀行で初！～ 在庫の再流通支援サービスの取扱い開始



西日本シティ銀行は、2019年4月8日より、佐川急便株式会社及び株式会社SynaBizと連携し、全国の銀行で初めてとなる「在庫の再流通支援」を目的としたサービスの取扱いを開始しました。

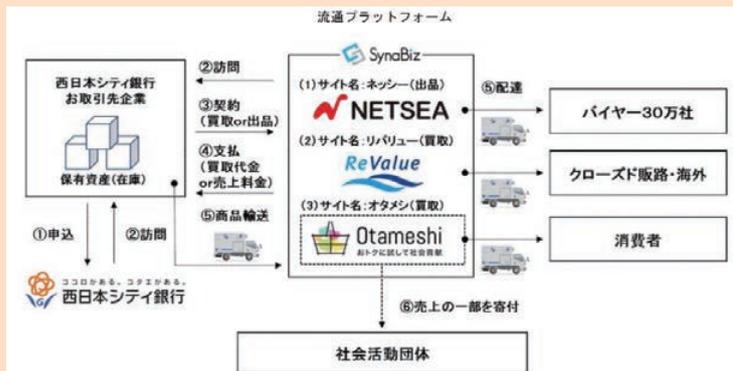
お客さまは、本サービスの活用により、在庫の保管・廃棄コストの抑制や廃棄ロスの削減が可能となり、社会課題の解決と国連が提唱するSDGsの実現が期待できます。

西日本シティ銀行は、SDGsの趣旨に賛同するとともに、今後も法人のお客さまの成長・発展への支援を通じてさらなる地域活性化に貢献してまいります。

サービスイメージ

西日本シティ銀行のお取引企業向けに、SynaBizが運営する流通プラットフォームと佐川急便の配送網を活用し、企業が保有する資産(在庫)の再流通(販売)を支援します。

- ① お客さまは、当行のお取引店にてお申込みします。
- ② 当行は、佐川急便またはSynaBizと一緒に訪問します。
- ③ 本サービスを希望されるお客さまは、SynaBizと在庫買取もしくは商品出品についての契約を締結し、SynaBizが運営するいずれかのサイト上で再流通(販売)を行います。
- ④ SynaBizより、在庫の買取代金もしくは出品した商品の売上料金をお支払いします(商品の配送等は佐川急便が担います)。
- ⑤ 佐川急便がお客さまからSynaBizの保管倉庫やそれぞれのユーザーへ商品を配送します。
- ⑥ 「Otameshi」での販売売上の一部が社会活動団体へ寄付されます。



— Education (教育) —

■ 第12回 久保田 勇夫新春経済講演会の開催



西日本FHIは、最新の経済情報を、企業経営や景気の見通しの参考にしていただくため、2008年より毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催しています。

2019年1月の講演会では、「2019年経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」をテーマに、久保田会長が米国経済や米中貿易摩擦、九州経済の見通しなどについて講演しました。



講演する久保田会長

■ 「第14回お金のがっこう」を開催



西日本シティ銀行は、2019年3月9日、10日の2日間にわたり、九州大学伊都キャンパスで開催された「ワークショップコレクションin福岡2019」(主催：NPO法人CANVAS/株式会社グッデイ)に参画し、金融リテラシー教育への取

組みとして、「第14回お金のがっこう」などを開催しました。

九州大学の講義室では、小学生を対象に「お金のがっこう」を2日間で計4回開催し、各回定員100名の授業がすべて満員となりました。

また、西日本シティ銀行の出展ブースには「ワンク出張所」を設置し、銀行の窓口業務の体験や1億円の重さ体験、銀行の店舗内を360度見ることができVR体験などを親子で楽しんでいただきました。他にも西日本シティ銀行のお取引先である大国段ボール工業株式会社とコラボレーションし、段ボールで貯金箱をつくるワークショップも開催しました。

「ワンク出張所」は2日間で2,000名を超える来場者となり、参加した子どもたちの多くが「楽しかった」「また参加したい」と話すなど、大盛況でした。



第14回お金のがっこう

— Culture (文化) —

■ ～創立15周年記念事業～「福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート」がスタート



西日本シティ銀行と福岡文化財団が共催で1986年(昭和61年)以降、毎月開催してきた「プロムナードコンサート」は2019年4月で400回を迎えたこと、今年、西日本シティ銀行が創立15周年を迎えることを機に、「福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート」として新たにスタートしました。

第1回目は、特別コンサートとして、2019年5月7日に「あいれふホール」で開催し、地元出身のピアニスト吉田あかねさんと九州交響楽団のメンバーによるショパン作曲『華麗なる大円舞曲』やシューベルト作曲『鱒』などを、約250名の方に鑑賞いただきました。

なお、今後、「福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート」は、本店エントランスホールで毎月開催します。コンサートの詳細やご鑑賞については、福岡文化財団のホームページをご覧ください。

また、毎回のコンサート演奏は、ラジオ公開番組として、毎月最終日曜日の19時から19時30分にFM福岡で放送します。



第1回福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート

— Award (表彰) —

■ アジア貢献賞・アジアKids大賞・アジア貢献賞創設20周年記念特別賞授賞式、 アジア貢献賞創設20周年記念フォーラムの開催



西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を、「アジア貢献賞」として毎年表彰しています。あわせて、未来を担う子どもたちの国際相互理解

を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際親善に貢献している小・中学校、子ども団体等を、「アジアKids大賞」として表彰を行っています。今年も、アジア貢献賞創設20周年を記念し、「アジア貢献賞創設20周年記念特別賞」としての表彰も行いました。

また、同日、「アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム」を開催しました。第一部の基調講演では、元駐中国大使の宮本アジア研究所 所長の宮本 雄二氏をお招きし、アジアの情勢と役割についてご講演いただきました。第二部のパネルディスカッションでは、アジア各地において活躍されている方々に、アジアにおける日本の役割と課題について、掘り下げて討論していただきました。



アジアKids大賞受賞の皆さま



アジア貢献賞・アジア貢献賞創設
20周年記念特別賞受賞の皆さま



アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム

第20回西日本国際財団アジア貢献賞

団体・受賞者	有光 武元 氏	大分工業高等専門学校 足踏みミシンボランティア部(代表 田中 孝典 氏)	松本 敏秀 氏
活動地域	フィリピン 福岡県北九州市	東南アジア 大分県大分市	ミャンマー 福岡県福岡市
活動分野	教育・貧困・災害等支援	生活支援	医療支援・人材育成
活動内容	学校図書館建設や奨学金制度の創設、ストリートチルドレンの収容施設の井戸建設や農業支援などの支援活動を継続している。	大分県内外から寄贈された古いミシンを学生達が修理し、東南アジア諸国へ寄贈。現地にも技術指導に赴き交流を継続している。	貧困地区や少数民族を対象に、チャリティ歯科治療をはじめ、デンタルケア、健康指導など、地方を精力的に巡回して行っている。

第14回西日本国際財団アジアKids大賞

団体・受賞者	愛の泉保育園・愛の泉学童クラブ (園長 金城 キヨ子 氏)	能古島青少年育成協会 (代表 伊高 哲郎 氏)
活動地域	ミャンマー 沖縄県沖縄市	アジア各国 福岡県福岡市
活動内容	園の設立当初から継続している子ども達による地域清掃活動「クリーン隊」が中心となって集めた空き缶を換金して、ミャンマーへの「命の泉」井戸建設事業に協力している。これまでに6基が完成している。	「自然教室」の開催や能古島の中学生野球チームと中国の野球チームとの交流、「国際交流フェスティバル」等を開催し、青少年の国際人育成に取り組んでいる。

アジア貢献賞創設20周年記念特別賞

団体・受賞者	弓場 秋信 氏
活動地域	東南アジア各国 鹿児島県鹿児島市
活動内容	鹿児島県内の国際協力・国際交流を通じた青少年育成のリーダーとして、これまで27回にわたり、鹿児島県内の中高生の国際理解を深めるため、東南アジア諸国に滞在する国際協力体験事業を行っている。また、カンボジアでの学校建設、教育・農業支援を長年継続している。

アジア貢献賞創設20周年記念フォーラム

内容	第一部 基調講演 「アジアとは何か～激変する世界における役割～」 講演者:宮本 雄二氏(宮本アジア研究所 所長、元駐中国大使)
	第二部 パネルディスカッション 「アジアと共に歩む日本～今後の課題と役割～」 ファシリテーター:宮本 雄二氏(宮本アジア研究所 所長、元駐中国大使) パネリスト:井本 勝幸氏(ミャンマー統一民族連邦評議会コンサルタント) (第17回アジア貢献賞受賞者) 加藤 暁子氏(公益財団法人AFS日本協会 理事長) 川崎 隆生氏(株式会社西日本新聞社 取締役会長) (アジア貢献賞 審査委員長) コブカーン・ワッタナブランクル 氏(タイ王国 前観光大臣)

※過去の受賞者等の詳細は、公益財団法人 西日本国際財団のホームページからご覧いただけます。URL:<https://www.nnk-foundation.jp/>

■ 経営者賞表彰式の開催

経営者顕彰財団は、2019年4月23日、第46回「経営者賞表彰式」を開催しました。

経営者顕彰財団は、九州・山口地域で中小企業等の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を、1973年の開始以来毎年表彰しています。これまでに168名の方を表彰しました。



経営者賞受賞の皆さま

第46回「経営者賞」受賞者

氏名	市川 雅夫 氏	平井 浩一郎 氏	吉川 卓志 氏
企業名 役職	アイティーアイ 株式会社 会長	株式会社ヒライ 代表取締役社長	吉川工業株式会社 代表取締役会長
所在地	長崎県長崎市 興善町6-7	熊本県熊本市西区 春日7丁目26-70	福岡県北九州市 八幡東区尾倉2-1-2
事業内容	医療機器、在宅 医療・産業・情報 処理産業機器等 の販売及びアフ ターサービス	弁当・惣菜等の製 造・販売、飲食店営 業	鉄鋼・チタン事業、エ レクトロニクス・精密 製品事業、表面処理 事業、ICTソリュー ション事業他

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、公益財団法人 経営者顕彰財団のホームページからご覧になれます。
URL:<https://www.kk-foundation.jp/>

— Event(イベント)—

■ 長崎ランタンフェスティバルに参加

2019年2月5日～2月19日の間、長崎市で「長崎ランタンフェスティバル」が開催されました。

2月9日には、メインイベントのひとつである「皇帝パレード」が行われ、西日本シティ銀行長崎支店と長崎銀行の行員が合同で参加しました。



長崎ランタンフェスティバル皇帝パレード

■ ～創立15周年記念事業～「博多どんたく港まつり」に参加

西日本シティ銀行は、2019年5月3日と4日に開催された福岡市民の祭り「第58回博多どんたく港まつり」に参加しました。

3日の午前には、「はかた駅前通りどんたくストリートパレード」に新入行員など約90名が参加しました。午後からの「明治通りパレード」には、川本副頭取をはじめ役員・支店長のほか、TVCMでもおなじみの若田部遙さんにも参加いただきました。

西日本シティ銀行CMソング『PASTEL』や『ワンク』のテーマ曲に合わせて、元気いっぱいの演技を沿道のみなさまにお届けし、西日本シティ銀行どんたくパレード隊は、「どんたく隊賞人気コンクール」に入選しました。

また、本店前の「創立15周年記念」演舞台では、谷川頭取による舞台挨拶の後、久保田会長が「ふくはく文化塾」のメンバーとして博多にわかを披露しました。



明治通りパレード



どんたく隊賞
人気コンクール入選

Governance (ガバナンス)

■ グループ経営管理のPDCAサイクル

西日本FH(持株会社)が経営管理に特化し、グループ各社が事業執行に専念することにより、グループ経営管理の高度化を図っています。

■ 監査等委員会設置会社

ガバナンスの強化及び迅速かつ効率的な意思決定体制を構築しています。

■ 「指名・報酬諮問委員会」の新設

取締役会の諮問に応じて経営陣幹部選解任や報酬体系について答申する「指名・報酬諮問委員会」を新設しました。



西日本フィナンシャルホールディングス